

がこれによってまかなわれている。ちなみに僕たち中学生に一年あたり使われている教育費は百万円。そして人件費。また、公共事業費というのもある。他に具体的なものを挙げると、警察の活動や消防車・救急車の出勤にも税金が使われている。信号や歩道橋、電柱に道路など辺りを見回せば税金の恩恵によるものがたくさん見つかる。税なくして現状はなく、税金の恩恵を受けていないものなど一人もいないということだ。

しかし、国会議員という立場を悪用し税を無駄使いしたり、脱税をしているという話もニュースでよく聞く。ニュースを見ているもう珍しくもない光景に「ああ、またか」と思っている自分がいることに悲しく、律儀に税を納めている行為を馬鹿にされたように感じる。

また、救急車をタクシー代わりに呼びつけ「こっちは税金を払っているんだ」で当然の権利として主張する人や、働くよりも生活保

護を受けた方が得だと考える人もいる。
 大人にもなって税金というものをしっかり
 と理解できていない人がいるのだ。誤解を解
 くきっかけはたくさんあるはずだ。早く誤解
 を解いてほしいと今回調べて改めて感じた。
 今回多くのことを調べて一つ思ったことが
 ある。TAXはTAXではないということだ
 税金は重い負担だろうか。答えはNO。税金
 がなければもっと大変なことになる。税金は
 酷な要求だろうか。NOだ。税は循環し、僕
 たちのところへ還ってきている。中学生の僕
 たちに年間百万払えというほうがよっぽど酷
 だ。
 確かに納税は血税かもしれない。身を切ら
 れるような、血をしぼられるような思いで納
 税の義務を果たしている人も多くいると思う
 しかし、切られた身は社会の体となり、しぼ
 られた血は社会の血となって社会を造ってい
 る。
 そう意識を持てば僕たち納税者の気持ちは

変わるのではないだろうか。